

OPAM 5th ANNIVERSARY

Oita Prefectural Art Museum

大分県立美術館OPAM(オーパム)は、皆さまに支えられ、2020年4月に開館5周年を迎えることとなりました。それを記念して様々なジャンルの展覧会やイベントを開催します。今後も皆さまのご期待に添えますよう精一杯努めてまいります。



©Hiroyuki Hirai

Events Calendar	2020							2021						
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
企画展		坂茂建築展		相田みつを全貌展				宇治山哲平にみる「やまごころ」					びじゅチューン!×OPAM なりきり美術館	
コレクション展		美の宝、大分	ブラック&ホワイト	天国と地獄				新しき美の仲間たち	ライフ・イズ・ビューティフル!					5/9まで
共催展			第38回高山辰雄賞ジュニア美術展				第56回大分県美術展				第40回大分県ジュニアデザイン展			

企画展 Special Exhibition

4.24金 - 6.21日

会場：1階 展示室A・アトリウム
一般/1,000(800)円
大学・高校生/700(500)円

坂茂建築展 仮設住宅から美術館まで

大分県立美術館の開館5周年を記念し、同館の設計者で、プリツカー賞受賞者の坂茂氏の展覧会を開催します。坂氏が手がけた美術館やコンサートホールなどの数々の建築物から被災地支援の活動まで、その取り組みの全貌を紹介。OPAMの建物の特性をフルに活用し、坂氏が設計にあたりコンセプトにおいた「街に開かれた縁側としての美術館」を体感いただける機会となります。



スウォッチ本社 ©Didier Boy de la Tour

6.5金 - 8.10月・祝

会場：3階 展示室B
一般/1,200(1,000)円
大学・高校生/800(600)円
小中学生/500(300)円

休展日：7月6日(月)～8日(水)

相田みつを全貌展

～いのちの尊さ ことばのチカラ～

栃木県足利市に生まれた相田みつを(1924-1991)は、戦中戦後の動乱期に書の世界に身を投じ、「いのち」の尊さを見つめながら、独特の書体で自らの言葉を書く作風を確立しました。1984年の作品集『にんげんどもの』がベストセラーとなり、広い世代の共感と感動を呼びおこしました。本展は、生きる勇気を与えてくれる相田みつをの世界を、初期から晩年にかけての代表作の約250点(前期・後期)と貴重な資料を通してご紹介する展覧会です。



《にんげんどもの》1980年

7.22水 - 9.6日

会場：1階 展示室A
一般/1,400(1,200)円
大学・高校生/1,000(800)円
小中学生/500(300)円

西洋絵画400年の旅 -珠玉の東京富士美術館コレクション-

東京富士美術館の西洋絵画コレクションは、16世紀のイタリア・ルネサンス絵画から20世紀の近現代絵画まで、400年にわたる西洋絵画史を一望できる充実したものです。本展では、その中から厳選した約80点により、華麗なる西洋絵画の流れをご紹介します。世界の美術ファンを魅了するモネ、ルノワール、セザンヌ、ゴッホ、シャガールなど近代の人気作家に加え、ティントレット、アントニー・ヴァン・ダイクなど、日本ではあまり見る機会のない巨匠たちもご紹介し、芳醇な西洋絵画の世界をご堪能いただけます。



クロード・モネ《睡蓮》1908年
©東京富士美術館イメージアーカイブ DNPpartcom.jpg

10.30金 - 11.29日

会場：3階 展示室B
一般/800(600)円
大学・高校生/500(300)円

生誕110年 宇治山哲平にみる「やまごころ」

日田市出身の洋画家・宇治山哲平(1910-1986)は2020年、生誕110年を迎えます。本展では、宇治山芸術の源泉となった故郷天領日田の自然や文化を掘り起こすことで、作品の魅力を再検証します。初期の版画作品から、戦後の「卓上シリーズ」、鮮やかな色面構成による抽象の「華厳シリーズ」を経て、晩年の静謐で日本情緒あふれる「やまごころシリーズ」の結実に至るまで、生涯にわたる代表作を一堂にご紹介します。



宇治山哲平《やまごころ》

2021
11.21土 - 1.17日

会場：1階 展示室A
一般/1,400(1,200)円
大学・高校生/1,000(800)円
小中学生/500(300)円

MANGA都市TOKYO ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮 2020

国立新美術館が2018年パリで開催した「MANGA⇄TOKYO」展が、装いを新たにいよいよ日本で開催されます!日本のマンガ、アニメ、ゲーム、特撮作品を、大都市・東京を軸に横断的に紹介するかつてない展覧会です。パリの観客を驚かせた圧巻の映像、貴重なオリジナルの原画や制作資料など、今も多くのファンに親しまれている約90タイトルをご紹介します。国内では国立新美術館と当館、2会場での開催です。お見逃しなく!



展覧会オリジナルキャラクター
ヨリコ(右)とウィッピー(左)
イラストレーション：吉成曜
©2018 OPMA All Rights Reserved.

2021
2.19金 - 5.9日

会場：3階 展示室B
・コレクション展示室
一般/300(250)円
大学・高校生/200(150)円

びじゅチューン!×OPAM なりきり美術館

なりきると、びじゅつがどんどん楽しくなる!OPAMにNHK Eテレ『びじゅチューン!』がやってきます!「見返り美人図」や「麗子微笑」「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」など、『びじゅチューン!』で歌になったびじゅつ作品の複製や映像を使った体験展示を行います。キーワードは「なりきり」。絵に登場する人物や絵を描いた人になりきって、びじゅつのなかで遊んでみよう!また、『びじゅチューン!』のコンテンツに関連した多くの美術作品も紹介します。



©NHK・井上涼 2020

※()内は有料入場者20名以上の団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料

©記載内容には変更が生じる可能性があります。予めご了承ください。

みる・つくる・かんじる

「朝のおとなの1010^{【てんてん】}講座・お話から体験まで」

美術の世界に親しみやすくなるワークショップ・レクチャーです。夜は忙しくて参加できない方に向けて、午前10時10分から行います。

みる・つくる・かんじる

「夜のおとなの金曜講座・お話から体験まで」

日常の中にある美術や美術作品のお話です。仕事帰りのひととき、美術館で過ごしてみませんか。「見るは楽しい教材ボックス」「大分県から絵の具をつくる」「美術からみた文化」「素材と技術」のテーマから行きます。

みる・つくる・かんじる

「みんなの土曜アトリエ・体験から鑑賞まで」

身体と感覚を活性化させる遊びや制作と、みんなでコレクション展示室の作品を見ることを組み合わせたワクワク・ドキドキのワークショップです。

みる・つくる・かんじる

「アトリエ・ミュージアム みんなでつくろっ!」

小さい子どもから大人まで、美術館にきた人は誰でも参加できるワークショップです。いろいろな素材に触ったり、描いたり、つくったりしますが、内容は当日来てのお楽しみですよ。

特別ワークショップ&レクチャー

美術の世界が広がるとっておきの時間です。美学・美術史の話や専門的な技法講座をはじめ、美術以外の分野の専門家を招いての講座も開催します。

アウトリーチプログラム

「地域美術館体験事業」

地域の施設や学校で大分県立美術館の作品を公開し、広く美術作品に親しんでいただくための展覧会や講座を開催します。

みる・つくる・かんじる

「スクールプログラム」

学校や園を対象とした「みる」+「つくる」+「かんじる」を組み合わせた美術体験プログラムや、学校の先生のための講座などを開催します。



共催展

Art Group & School Education Exhibitions

第38回高山辰雄賞ジュニア美術展

会期:8月19日(水)~8月23日(日)
会場:3階 展示室B
主催:高山辰雄賞ジュニア美術展実行委員会
お問い合わせ:大分合同新聞社 マーケティング統括局
Tel:097-538-9647
観覧料:無料

第56回大分県美術展

会期:9月16日(水)~10月18日(日)
休展日:未定
会場:1階 展示室A/3階 展示室B
主催:大分県美術協会
お問い合わせ:事務局長 池部俊之 Tel:097-541-3316
一般/500円 大学生・高校生/300円

第40回大分県ジュニアデザイン展

会期:2021年3月16日(火)~3月21日(日)
会場:1階 展示室A
主催:大分県造形教育研究会
お問い合わせ:大分市立大在西小学校
Tel:097-521-1005
観覧料:無料

コレクション展 Collection Exhibition 会場:3階 コレクション展示室

コレクション展I

「美の宝、大分」

会期:4月10日(金)~6月2日(火)
[休展日] 5月13日(水)

大分県立美術館の開館5周年を記念して、約5,000点にのぼるOPAMコレクションより、近世美術、日本画、洋画、工芸、彫刻の各ジャンルから選りすぐりの優品を紹介いたします。



福田平八郎《新雪》1948年

コレクション展II

「ブラック&ホワイト」

会期:6月5日(金)~8月4日(火)
[休展日] 7月1日(水)

水墨画、油彩画、版画などから、白や黒を基調にした作品を紹介いたします。同時開催の「相田みつを全貌展」にあわせて、県内書家の作品も取り上げます。限定された色が織りなす、豊かな美の表情をお楽しみください。



谷口晶之《77-3(イヴ)》1977年

■チケット情報

一般/300(250)円 大学・高校生/200(150)円

※()内は有料入場者20名以上の団体料金

※中学生以下は無料 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料

※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料

コレクション展III

「天国と地獄」

会期:8月7日(金)~9月29日(火)
[休展日] 9月2日(水)

OPAMコレクションの中から、「天国と地獄」をイメージさせる作品を紹介いたします。映画やオペレッタにも同名のタイトルのものがありますが、さて、OPAMの「天国と地獄」とは?この夏、OPAMで体験してみてください!



真島直子《脳内麻薬4》2015年(寄託品)

コレクション展IV

「新しき美の仲間たち」

会期:10月2日(金)~12月1日(火)
[休展日] 11月4日(水)

日田の南画家・平野五岳の作品を中心に構成される「平田コレクション」を公開するほか、劣化や損傷を修復してよみがえった作品なども含め、近年新たに収蔵された作品やOPAM初公開作品を中心に紹介します。



平野五岳《浅絳山水図》1861(文久元)年 平田コレクション

コレクション展V

「ライフ・イズ・ビューティフル!」

会期:12月4日(金)~2月2日(火)
[休展日] 1月6日(水)

年末年始には、クリスマスやお正月など家族や友人と過ごす機会が多くなります。そうした折々の人と人の交流をテーマとした作品や、家族愛、友情などを表した作品を紹介いたします。



鈴木春信《子供を抱き上げる婦人》明和期(1764~72)頃